

第11回（平成28年度）

# 鶴岡市芸術祭参加公演総括表

（45公演55団体の実施報告のまとめ）

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会

# 目次

1. 鶴岡市芸術祭のための会議等	.....	1 ページ
2. 参加公演実施状況一覧	.....	2 ~ 4 ページ
3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧	.....	5 ページ
4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負	.....	6 ~ 13 ページ
5. 各地域文化祭(協賛事業)実施状況一覧	.....	14 ページ
6. 各地域文化祭(協賛事業)の反省点と来年度への抱負	.....	15 ~ 17 ページ
7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移	.....	18 ページ
8. 関連事業など	.....	19 ページ
《参考》「海づくりアート鶴岡」実施内容	.....	20 ページ

昨年、鶴岡市合併・市制施行10周年記念 第10回鶴岡市芸術祭を祝して開催した「まちなかアート」には、加盟団体はもとより、市民グループ、高校生にも参加頂き、ご覧頂いた多くの市民の皆さまから大好評を博しました。

今年は、昨年の盛り上がりを糧に、庄内で開催される「第36回全国豊かな海づくり大会」に協賛しての『海づくりアート鶴岡』を開催し、全国から来庄の皆さまを歓迎するとともに、豊かな庄内の自然に感謝しつつ、新たな人材育成をも視野に入れて展開します。

それぞれの会場でお待ちしておりますので、皆さまお誘い合わせの上、ご来場下さい。

「海づくりアート鶴岡」パンフレットより



# 1. 鶴岡市芸術祭運営推進のための会議等

## ❖NPO芸術文化協会 芸術委員会

- ❖第1回 平成28年5月26日(木) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭開催について
- ❖第2回 平成28年7月15日(金) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭協賛金・開幕式典について
- ❖第3回 平成28年12月15日(木) 午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭賞授賞団体の決定について
- ❖第4回 平成29年2月14日(火)午前10時～(アートフォーラム) 芸術祭の総合反省について

## ❖開幕式典

- ❖日時 平成28年8月27日(土)午後1時30分～
- ❖会場 鶴岡アートフォーラム 交流広場
- ❖参加人数 86名

## ❖閉幕のつどい

- ❖日時 平成28年12月23日(金・祝)午後14時～
- ❖会場 東京第一ホテル鶴岡 鳳凰の間
- ❖参加人数 215名
- ❖会費 5,000円

## ❖参加公演

- ❖参加公演数 45公演(県参加29公演)
- ❖参加団体数 55団体(県参加38団体)
- ❖参加人数合計 3,351名
- ❖入場者数合計 23,129名

## ❖芸術祭賞選考委員会

- ❖委員長：佐藤 政一 副委員長：小林 達夫、佐藤 晃  
委員：中里 欣一、後藤 和夫、小林 功、久保田 豊、堀 公明、  
藤間 静貴久、伊達 克夫、市川 清治、五十嵐重良、  
佐藤 宗倅、小澤 紀美、小林 良市、三浦 恒祺、  
日向 常浩、佐藤よし子、小林 宗健、牧 慎一、梅津 芳春
- ❖第1回選考委員会 平成28年7月15日(金) 午前11時～(アートフォーラム)
- ❖第2回選考委員会 平成28年12月7日(水) 午後2時～(アートフォーラム)
- ❖部門別小委員会 邦楽、日舞、民謡・民舞、吟詠部門：11月28日(月)  
洋楽部門：12月4日(日) 洋舞・演劇部門：11月28日(月)  
展示・茶道・華道部門：12月2日(金)  
文芸部門：11月4日(金) 大衆芸能部門：11月1日(火)

## ❖関連イベント 海づくりアート鶴岡 (詳細はP20)

- ❖舞台部門 平成28年9月3日(土) 平成28年9月4日(日)  
参加団体数 7団体 参加団体数 7団体  
平成28年9月9日(金) 平成28年9月10日(土)  
参加団体数 1団体 参加団体数 9団体  
平成28年9月11日(日)  
参加団体数 1団体
- ❖展示部門 平成28年9月3日(土)～11日(日)  
参加団体数 12団体

## ❖協賛者

- ❖協賛者数 737件  
(個人、企業、団体等)
- ❖協賛金合計金額 1,522,000円

## ❖芸術祭賞

- ❖大賞  
■鶴岡土曜会混声合唱団 第65回定期演奏会 (主催：鶴岡土曜会混声合唱団)
- ❖準大賞  
■第27回鶴岡和紙ちぎり絵サークル展 (主催：鶴岡和紙ちぎり絵サークル)
- ❖優秀賞  
■第4回フォト・アイ写真展 (主催：フォト・アイ)  
■第15回田川民話の会語り市 んだば、語てみっがの。温海宿  
(主催：田川民話の会)  
■男声合唱団デザミ・アンティム横浜並木合唱団ジョイントコンサート2016  
(主催：男声合唱団デザミ・アンティム)  
■2016年ViViバレエスタジオ発表会 (主催：ViViバレエスタジオ)  
■AKIKOフラメンコスタジオ鶴岡20周年記念公演 華のかほり「～フラメンコへの思い～」  
(主催：AKIKOフラメンコスタジオ)  
■表千家流茶会 (主催：表千家同門会山形県支部庄内地区)

## 2. 参加公演実施状況一覧

(公演順)

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数
1	創立92周年・平成28年度白甕社美術展(公募)	白甕社	8/27(土)~9/6(火)	アートフォーラム	有料	展示	鶴岡	○	174	201	2,450
2	2016年ViViバリエスタジオ発表会	ViViバリエスタジオ	9/11(日)	中央公民館	有料	洋舞	鶴岡		20	-	490
3	第30回書法研究山紫会展	書法研究山紫会	9/16(金)~9/19(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	27	80	390
4	第46回錦心流琵琶演奏会	錦心流琵琶全国一水会 鶴岡支部	9/18(日)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	13	12	220
5	あつみ作品展	粕谷書道教室ほか	9/21(水)~9/23(金)	温海ふれあい センター	無料	展示	温海		27	104	97
6	第15回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっがの。温海宿	田川民話の会	9/24(土)	温海ふれあい センター	無料	民俗芸能	鶴岡		17	-	120
7	表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部庄内地区	9/25(日)	致道館	有料	茶道	鶴岡		30	-	300
8	裏千家秋の茶会	裏千家淡交会 庄内支部鶴岡地区	9/25(日)	出羽庄内国際村	有料	茶道	鶴岡		40	-	400
9	第52回「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	さゞ波会	9/25(日)	中央公民館	無料	民謡・民舞	鶴岡	○	39	-	400
10	第38回佳陽会日本画展	佳陽会	9/27(火)~10/2(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	15	45	682
11	第27回鶴岡和紙ちぎり絵サークル展	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	10/6(木)~10/10(月)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	23	215	830
12	遠州流茶会	遠州流茶道山形支部	10/9(日)	第二学区コミセン	有料	茶道	鶴岡		35	-	250
13	八沢会唄と踊りのつどい	八沢会	10/9(日)	中央公民館	有料	民謡・民舞	鶴岡		60	36	400
14	シンフォニック荘内流第28回公演	シンフォニック荘内流	10/15(土)	中央公民館	無料	邦楽	鶴岡	○	127	-	420

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数
15	第53回各流派合同いけばな展	鶴岡市いけばな7流派	10/15(土)～10/16(日)	アートフォーラム	有料	華道	鶴岡	○	173	176	2,684
16	如月会水墨画展	如月会	10/15(土)～10/18(火)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	15	47	315
17	男声合唱団デザミ・アンティム 横浜並木男声合唱団ジョイントコンサート2016	男声合唱団デザミ・アンティム	10/16(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	20	-	436
18	第54回鶴岡市合同短歌会	鶴岡市合同短歌会 実行委員会	10/16(日)	市立図書館	有料	文芸	鶴岡	○	58	-	55
19	第23回飛雲会展	書道研究飛雲会	10/19(水)～10/23(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	28	61	230
20	一東書道会鶴岡支部 畊雅会34周年 かな書作展	一東書道会鶴岡支部畊雅会	10/21(金)～10/23(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡		23	57	261
21	第80回つるおか小品盆栽展	鶴岡小品盆栽会	10/21(金)～10/23(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	10	124	380
22	日本九重流鶴城清吟会 創立40周年記念吟詠大会	日本九重流鶴城清吟会	10/23(日)	中央公民館	無料	吟詠	鶴岡	○	200	-	400
23	フォトサロン写楽写真展覧会	フォトサロン写楽	10/26(水)～10/30(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	9	95	1,314
24	第4回フォト・アイ写真展	フォト・アイ	10/26(水)～10/30(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	10	68	928
25	秋季さつき盆栽展	鶴岡さつき盆栽研究会	10/28(金)～10/30(日)	中央公民館	無料	展示	鶴岡	○	18	92	312
26	第29回庄内なつメロ会発表会	庄内なつメロ会	10/30(日)	中央公民館	有料	大衆芸能	鶴岡		21	-	480
27	朝日俳句・短歌・川柳合同展	朝日俳句の会ほか	10/29(土)～11/3(木)	朝日中央コミセン すまいる	無料	文芸	朝日		283	-	350
28	第13回つるおか思い出の歌愛唱会 発表会	つるおか思い出の歌愛唱会	10/30(日)	西郷地区 活性化センター	有料	大衆芸能	鶴岡		17	-	140
29	第23回庄内写真研究会写真展	庄内写真研究会	11/2(水)～11/6(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	7	65	650
30	第68回荘内書道展覧会	鶴岡書道会	11/3(木)～11/6(日)	アートフォーラム	無料	展示	鶴岡	○	1,300	1,300	2,000

NO	公演名称	実施団体	公演日	会場	入場料	部門	所属	県参加	参加者数 (出品者数)	出品作 品数	入場者 (延)数
31	みんなの演奏会 創立70周年記念 鶴岡放送児童合唱団定期演奏会	鶴岡放送児童合唱団	11/3(木)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	23	-	505
32	秋の夜長の朗読三昧	劇団麦の会	11/5(土)	第三学区コミセン	有料	演劇	鶴岡		17	-	83
33	荘内金管合奏団秋の公演2016	荘内金管合奏団	11/5(土)	アートフォーラム 交流広場	無料	洋楽	鶴岡	○	12	-	80
34	宝生流・観世流合同謡曲大会	宝生流鶴岡五雲会 鶴岡観世流同好会	11/6(日)	第二学区コミセン	無料	吟詠	鶴岡		27	-	40
35	吉統舞踊学園現代舞踊公演	吉統舞踊学園	11/6(日)	中央公民館	無料 (ご招待)	洋舞	鶴岡	○	40	-	440
36	40周年記念(吟詠134回)吟詠大会	日本九重流朝暘清吟会	11/12(土)	東京第一ホテル 鶴岡	無料	吟詠	鶴岡		60	-	282
37	鶴岡響友会吹奏楽団 第15回定期演奏会	鶴岡響友会吹奏楽団	11/12(土)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	35	-	230
38	第76回 劇団だいこん座公演	劇団だいこん座	11/19(土)	中央公民館	有料	演劇	鶴岡		8	-	200
39	スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ 第17回定期演奏会	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ	11/20(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	16	-	480
40	バウムクーヘン オータムコンサート	バウムクーヘン	11/23(水)	中央公民館	無料	洋楽	鶴岡	○	106	-	491
41	剣聖流 鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会	11/23(水)	第三学区コミセン	無料	吟詠	鶴岡		28	-	200
42	鶴岡土曜会混声合唱団 第65回定期演奏会	鶴岡土曜会混声合唱団	11/26(土)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	55	-	500
43	AKIKOフラメンコスタジオ鶴岡20周年記念公演 華のかほり「～フラメンコへの想い～」	AKIKOフラメンコスタジオ	11/27(日)	東京第一ホテル 鶴岡	有料	洋舞	藤島	○	28	-	390
44	第9回 写団はぐろ会員写真展	写団はぐろ	11/30(水)～12/4(日)	アートフォーラム	無料	展示	羽黒	○	10	73	468
45	創立40周年記念 鶴岡吹奏楽団 第32回 定期演奏会	鶴岡吹奏楽団	12/4(日)	中央公民館	有料	洋楽	鶴岡	○	47	-	356
合 計								29	3,351	2,851	23,129

### 3. 鶴岡市芸術祭賞受賞団体一覧

	公演名	主催	代表	部門	受賞理由
大賞	鶴岡土曜会混声合唱団 第65回定期演奏会	鶴岡土曜会 混声合唱団	阿部 淳二	舞台部門 (洋楽)	一週間前の全国大会、連続と思われる演奏にも関わらず見事な演奏を披露してくれた。プログラム構成も無駄が無く、演奏に充実感があり、とても心地よく安定した音楽を聴くことができた。また団員の微笑みをもって歌う姿勢には自信と誇りがあり、喜びを抱えての演奏は大きくお客さんを包み幸福にしていた。長い歴史の中、継続して歌い続けることに敬意を表するとともに、その安定感には大地に根を張った合唱団の誕生を思わせてくれた。高いレベルで市民に受け入れられていることを評価し、伝統に裏打ちされた充実した演奏を讃えるものである。
準大賞	第27回鶴岡和紙ちぎり絵 サークル展	鶴岡和紙 ちぎり絵サークル	小澤 紀美	展示・茶道・ 華道部門	手すき和紙を重ねて創り上げる世界には、絵画とはまた違った魅力があり、風景、静物、人物等を表現する繊細な作品の数々が鑑賞者に感動を与えている。児童の体験講座作品の展示など、子ども達への普及活動にも長く取り組み、わかりやすさ、親しみやすさが幅広く市民に受けている。今回は特に、会員の作品に秀作が揃って好評であった。
優秀賞	第4回フォト・アイ写真展	フォト・アイ	佐藤 稔	展示・茶道・ 華道部門	会員それぞれが、風景、花、祭、伝統行事など個別のテーマを掲げながら、素材選択の理由や製作の意図、作品に寄せる思いがメッセージとして添えられており、その展示方法とともに、写真を通して「ふる里の魅力を伝えたい」というグループ共有の“おもい”が感じとれた。組み写真の各作品は力作揃いで、撮影会などで楽しくも互いに切磋琢磨している様子にも共感を覚える。
	第15回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっかの。 温海宿	田川民話の会	帯刀 春男	文芸部門 (民俗部門含む)	いろりを前に、障子屏風をバックに、和室の大広間で語る民話。下は小学2年生、上は90歳の語り部による17話の昔話。庄内を題材にした話も何編もあり、方言たっぷりの表現だった。現実とかけ離れたSFの世界が、日頃の疲れをいやしてくれる。毎年、庄内旧市町村を巡回公演しており、演者と観客が親密に結びついている。地方文化の保存向上に資する公演として高く評価する。
	男声合唱団 デザミ・アンティム 横浜並木男声合唱団 ジョイントコンサート2016	男声合唱団 デザミ・アンティム	菅原 求	舞台部門 (洋楽)	横浜並木男声合唱団と、近隣の長く友情を共にする酒田メンネルコールの賛助出演による演奏会は豊かな心地よい歌声でほぼ満席の会場を魅了した。男性のみの合唱をこの人数で耳にすることは鶴岡の市民にとっては久々の体験であったろう。デザミ・アンティムは平均年齢70才を超えているというが、愛嬌たっぷりに歌うその姿はみな20代。この企画に向けた努力と盛會を讃えるものである。
	2016年 ViViバレエスタジオ 発表会	ViVi バレエスタジオ	佐藤 京子	舞台部門 (洋舞・演劇)	上級生から5歳まで、スタジオ生17名の出演者が、のびやかに表現力豊かな踊りをみせてくれた。特に、主演の「白雪姫」と「森の女王」役を地元の高校生が演じている点は高く評価されるものであり、その堂々たる姿は、ゲストダンサーにも劣らない技能で、目を見張るものがあった。また、他の生徒も森の精、こびとたちなど、それぞれの役柄をいきいきと演じており、衣装も工夫されていた。長い間積上げてきた練習の成果が感じられ、また発揮された舞台であった。
	AKIKOフラメンコスタジオ 鶴岡20周年記念公演 華のかほり 「～フラメンコへの想い～」	AKIKO フラメンコ スタジオ	富樫 昭子	舞台部門 (洋舞・演劇)	独特のリズムで舞台いっぱい広がる情熱的な踊り、華やかな衣装とサパテアードの迫力ある響き、生のカンテとギターが一体となった感動的な舞台であった。今回は、鶴岡教室の生徒27名が出演し、日本海・庄内の海をモチーフに、体全体で喜怒哀楽、物語を表現。群舞のセビジャーナス、数人でのソレア、シギリージャなど、舞台せましと踊る姿は観客を圧倒し、改めてフラメンコの魅力を堪能させてくれた。
表千家流茶会	表千家同門会 山形県支部 庄内地区	佐藤 宗恵	展示・茶道・ 華道部門	さりげないおもてなし、さらりと流れるような自然な所作と表千家流らしい道具の組合せに、心地良いひとときを過ごした。正客、亭主との会話には、共によい茶会を作りあげようという雰囲気満ちており、日常の中にある「おもてなし」が体現されていた。会場となった致道館も雰囲気づくりに一役かっており、立ち寄った観光客からは思いがけない趣向に対する喜びを感じ取ることができた。	

## 4. 参加公演実施団体による反省点と来年度への抱負

※公演内容は、芸術祭参加申込み時点での予定であり、実際の公演内容とは異なる場合があります。

NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
1	創立92周年 平成28年度白甕社美術展 (公募)	会員並びに一般公募作品 種目: 絵画(日本画・油彩画・水彩画・版画・パステル画・アクリル画・鉛筆画・コラージュ)、彫刻、工芸 展示数約220点	白甕社	今年度は、最近減少傾向にあった出品者・出品点数とも増加し会員は勿論、一般応募作品も個性豊かな力作が多く充実した公募展を開催できました。大変、嬉しい結果です。また、ギャラリーの展示も一部配置変更を行いました。これも見やすいと、好評を得る事が出来ました。厳しい残暑の中での開幕、また台風10号の襲来予想等、悪条件が重なり入館者の減少は残念でした。	今年は会場の都合で、従来休館日の月曜日が開館となり大変有難く感謝しましたが、月曜日休館という先入観が根強く浸透しており、また台風10号等の気象状況も影響し、期待通りの結果は得られませんでした。今後も継続出来れば有難いと思います。これからも、会員一同、切磋琢磨し自慢出来る公募展を開催する覚悟で頑張ります。
2	2016年 ViViバレエスタジオ発表会	クラシックバレエ発表会 「白雪姫」全幕 ゲスト: 加藤浩子先生・松田耕平先生・田中りゑ先生	ViVi バレエスタジオ	白雪姫全幕を、久しぶりに生徒主役で上演出来、感慨深い思いでした。幼稚園児から高校3年生までの努力と練習が今回の結果につながったと思います。今年も生徒全員、父兄も協力、発表会に向かっていけたと思います。	高校3年生の最上級生が卒業し、また気持ちを新たに、練習を続けていきたいと思っています。そして、一人でも多くの生徒が、今回の卒業生の様に上達していく事を願っています。
3	第30回書法研究山紫会展	30回記念展としての会員による書作展。漢字・かな・調和体を自由サイズで表現した約60点を展示	書法研究 山紫会	会員27名・83点の出品。節目の30回記念展として一同力を入れた。例年より大きな作品は少なかったが、個性を出した小作品で多彩な会場を造ることが出来た。又、参考出品の時代の異なる著名人の「書」は、会場を引き締めた。	書くことの楽しさを表現出来れば、楽しい会場が出来ると思うので、その事をモットーにしたいと思います。
4	第46回錦心流琵琶演奏会	錦心流琵琶12曲「平家物語」より 扇的、鶴越、重衡、建礼門院、敦盛、壇の浦、横笛、滝口入道時頼他	錦心流琵琶 全国一水会 鶴岡支部	琵琶で語る「平家物語」と題した演奏会は、映写により歌詞を大きく映し出したので、見聴きしながらの観賞は、内容がよく理解されたと思います。平家琵琶の演奏は、薩摩琵琶との違いを知られ、良かったと思います。	琵琶と他の楽器や音声とのコラボを考え、調和した邦楽の魅力を創作し、幅広く語ってみたいと思います。
5	あつみ作品展	書、陶芸、水墨画、砂絵、写真、生け花等の展示	粕谷書道教室 ほか	多数の分野の方々が協力し合い開催しています。今回は、会場内にBGMを流し、ゆったりとしたスペースで作品の鑑賞をしていただこうと工夫しました。また、来場者とのコミュニケーションを大切に休憩コーナーを設けたことも好評でした。	各分野が合同で開催することにより、出展者同士の交流と研鑽を図り、より多くの方から楽しんでいただけるよう、会場の展示レイアウトを工夫し開催したいと思います。また、出展者の活動紹介も出来るように工夫をしていきたい。
6	第15回 田川民話の会 語り市 んだば、語てみっがの。 温海宿	会員による、地元民話の昔語り等 賛助出演: あつみ昔話の会、やまがた民話の会協議会	田川民話の会	上部団体やまがた民話の会協議会第16回発表会・温海昔話の会結成12周年発表会と併催。他の公演では、見られぬ80歳以上の年齢差の出演者ではあったが、昔話の楽しさ、あったかさを十二分に感じたと、お褒めの言葉しきり。	先人からの知恵・真理等を受け継ぐ民俗文芸は、AI化に拍車のかかる現代には、絶対に外してはならない分野・部門と云える。 ロボット主義に“待った”をかけるのは、やはり民話しかない。そんな気持ちで来年も！



NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
7	表千家流茶会	表千家流茶会 2席	表千家同門会 山形県支部 庄内地区	天候にも恵まれ、多勢のお客様にお越しいただけたことを感謝しております。お茶会参加も会場の致道館入館も初めてという市内のお客様も少なくなく居られましたが、会場を含め好意的な感想を寄せて下さったのは嬉しいことでした。	茶会一席が約30分の短いひと時を、美味しいお茶とお菓子は勿論のこと、お客様が和やかに心地良くお過ごしになれるよう、会員一同力を合わせ努力したいと思います。茶の湯の楽しみの多様さ、清々しさを感じていただけるような茶会を目指したいものです。
8	裏千家 秋の茶会	茶会 2席 (濃茶席 薄茶席)	裏千家淡交会 庄内支部 鶴岡地区	濃茶席、薄茶席の二席の茶会でした。 当日は、素晴らしい晴天となり、多数のお客様を迎えることとなりました。初秋の風情を感じられる茶席に、参加者も楽しんでおられました。運営もスムーズに行なうことができました。	来年度も、同様の内容で「茶会」を開催する予定でおります。
9	第52回 「さゞ波会 民謡と舞踊のつどい」	民謡民舞23、踊り10、カラオケ歌謡3、花嫁行列1、民謡教室1 (みんなで「真室川音頭」を唄おう)合計38番	さゞ波会	今回は、従来入場料を頂いていたのを、入場無料にしたので、どの位のお客様が来場されるか見当つかなかった。 幕をあげて見れば、満席に近い客席で大成功だった。スポーツ民謡Kサークルの皆さんのご協力にも感謝です。	次回も、今回の内容を続けたいと思う。 鶴岡で唯一の民謡の継承発表団体として、愛好者に心の癒しと、伝承文化の継承に一層の力を注ぎたい。 いつもだが、会員自らが「ヤル気」になっている。次回も、乞うご期待。
10	第38回佳陽会日本画展	会員16名による日本画の発表。 作品数は52点前後	佳陽会	38回日本画展は、一人3点(ふたり展は5～6点)の作品を展示し、入場者からは「毎年とても楽しみにしている」「この会場に来ると癒される」という声を頂いた。	会員の高齢化により作品の飾りつけが大変になってきた。手当てを払って雇うことも考慮したが、今回は何とか自分達の手で出来た。 今回は、検討が必要である。
11	第27回鶴岡和紙ちぎり絵サークル展	①会員による習作、創作。約70点の展示 ②幼児、児童の体験講座作品の展示	鶴岡和紙ちぎり絵サークル	今回の作品は、昨年よりレベルアップした良い作品が展示出来良かった。児童対象の体験講座も多く、会場もゆったり取れたのは良かった。若い世代が和紙に触れ、また和紙に興味を持ち伝統工芸の和紙を広めてゆければと思います。	会場に来てくれた人で、和紙に興味を持っている人もいて、実習している所を見たいと言うので「是非、教室に見に来て下さい。」と言いました。会員の増える事は、大変嬉しいので、是非仲間に入っていただきたいと思います。
12	遠州流茶会	遠州流茶会 2席 (立札席あり)	遠州流茶道 山形支部	今年、遠州流茶道山形支部は創立60周年を迎えました。また宗実家元は、華甲の年を迎えられて二重の喜びで6月に記念行事を行いました。これも地域の皆様のおかげと深く感謝致します。感謝の心を込めた一服のお茶で感じていただいたものと思っています。	これからも継続して参加してまいりたいと思います。毎回、頭を悩ます事は、茶会の会場です。予算の関係で市施設をと思いますが、コミセンも学区が主で、すぐは回答していただけて、6月まで会場は決められないのが現状です。

NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
13	八沢会唄と踊りのつどい	民謡・民舞・新舞踊	八沢会	中公公民館での開催が3回目になり、ホールは満席となったが、入場整理券を発行しスムーズに進行できた。第6コミセンの文化祭と競合し駐車場の混乱が心配されたが、係を配置する等してトラブルなく終了することができた。	近年、毎年のように国文祭に参加してきたが、会員の高齢化もあり、近隣県開催に限ることとした。なお、会員からは、山形の花笠まつりに参加したいと希望も出されており、考慮したい。来年の発表会を目指して頑張ります。
14	シンフォニック荘内流第28回公演	テーマは「笑(えむ)」。全6ステージ。大正琴・文化箏による「春の海」「花笠音頭」。子供達の箏や太鼓の演奏、日本民謡お国めぐりに期待	シンフォニック荘内流	「笑う門には福来たる」幸せな曲、笑顔になれる曲、心が豊かになれる曲として練習を重ね全員での演奏でした。オーピングを湯田川神楽で笑いをとり、お琴の演奏に、おどりや太鼓の子供達、ドラム・ギター・三味線などが加わり、とても素晴らしい公演となりました。	2017年テーマ「藝(げい)」「人と人の和」を創流理念にかかげ伝統文化を継続していく大切さを学び、歌と琴と友と奏でる喜びを感じながら、ますます藝術を高め合えることを願いつつ、第29回公演にのぞみたいと思います。
15	第53回各流派合同いけばな展	鶴岡市内7流派参加による合同いけばな展出瓶者数 約250名	鶴岡市いけばな7流派	今年の出瓶数は173瓶でした。アートフォーラムという素晴らしい展示場なので、どの花も映えて見えました。他流派や会場係の方々のご協力により、大過なく終えることが出来ました。	今後も、研鑽を積み、皆様にいけばなを楽しんで頂きたいと思います。流派の個性や特徴を生かし「伝統文化いけばな」が、長く継承されるよう努めてまいります。
16	如月会水墨画展	色紙から屏風の水墨画約40点展示	如月会	出品数は51点(昨年比-3点)。6~50号(昨年比-10点)、4号(昨年比+7点)、全国展で上位入賞作品から、今年より習い初めの作品まで幅広く内容も深い展覧会となった。入場者は、初めての方や常連の方と多くの方が来ました。	新たに出品する人を増やし、また内容もさらに充実していきたい。
17	男声合唱団デザミ・アンティム 横浜並木男声合唱団 ジョイントコンサート2016	横浜並木男声合唱団とのジョイントコンサートに酒田メンネルコールの友情出演を得て男声80名による合同演奏	男声合唱団デザミ・アンティム	横浜並木男声合唱団の“音楽は楽しいもの”、“客席とステージが一体となれる音楽を創ろう”というコンセプトが十分生かされた、客席との一体感が生み出されたステージとなり、市民に感動と興奮を与えたコンサートとなりました。	平均年齢は75歳を超えていますが、いつまでも楽しく元気に歌い続け、福祉施設訪問演奏などにも積極的に取り組みながら、次回の演奏会開催に向けてレパートリーを着実に増やしていく活動を続けていきたいと思っています。
18	第54回鶴岡市合同短歌会	短歌講師による作品の批評及び講話	鶴岡市合同短歌会実行委員会	今年は、山形新聞の選者をなさっている井上菅子先生に指導をお願いしました。58首全部に歌評を頂きました。質問の時間を十分にとり、日頃疑問に思っていることに丁寧に答えて頂きました。有意義な歌会でした。	昨年から、合同短歌会の主催を4つの結社で進めることになった。一つの結社では「人」「お金」など、難しくなったので。合同短歌会への参加者を多くするために、結社に入っていない人にも、案内チラシを届けたりした。

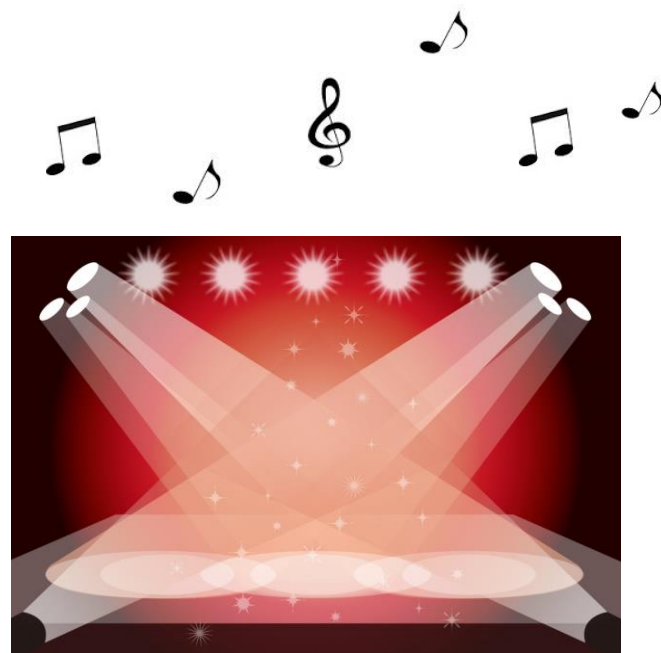
NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
19	第23回飛雲会展	飛雲会会員による書道、篆刻作品の展示	書道研究飛雲会	<p>展覧会も23回目となると来場者も顔馴染の方が多くなり、静寂で凜とした雰囲気の中で、文字の読み方や意味の解説を求められる場面が多くなりました。庄内の教養の高さが垣間見れて嬉しく次回の励みとなりました。</p>	<p>書道に興味を抱いてくれる若い方が増えて来た事は、何より嬉しい事です。老若男女を問わず、日本の伝統文化の継承の一助となれば幸いです。</p>
20	一東書道会鶴岡支部 畹雅会34周年 かな書作展	書道作品の展示等 半紙:40枚、卷子:2巻 2尺×6尺:4枚 半折:10枚	一東書道会 鶴岡支部 畹雅会	<p>芸文協に入会して、初めての書作展でした。今回は10月に書作展が出来ましたので、前回より74名も増えて盛会に終わる事が出来ました。 仮名書道だけの展覧会は、珍しいと言われました。変体仮名に興味を持たれました。</p>	<p>来年は、35周年という事で、節目の展覧会です。もっと仮名書道の魅力を御来場下さった方々に知っていただく書作展にしたいと考えております。変体仮名を詳しく説明したプリントを準備したいと考えております。</p>
21	第80回 つるおか小品盆栽展	樹高約20cm以内の松柏、雑木、実物、草物の各盆栽を飾台の上に配し、約100点にて秋の情景を表現	鶴岡小品盆栽会	<p>小品盆栽の樹々は天候に左右される事が多く、年間の管理の如何が、秋の紅葉・実成り・松類の葉に成果が出ます。会員が日常育てた盆栽で秋の風情を演出でき、観賞者に味わっていただけたと思います。</p>	<p>展示期間中、毎回実施している講習会も盛況で25名程の聴視者にリピーターも多く内容も充実してきました。その中に、数名の参加の方もいて「全員が共有できる課題を」と考えると共に、会員の増強も図りたいと思います。</p>
22	日本九重流鶴城清吟会 創立40周年記念吟詠大会	「望郷の漢詩人 土屋竹雨の世界」「四季を味わう」の構成吟を剣詩舞、華道、書道で彩る20吟を公演	日本九重流 鶴城清吟会	<p>「心に残る漢詩を詠う」をテーマに2題の構成吟を公演した。静の吟詠に動きの伴う剣舞、詩舞、華道、書道を取り入れ、吟と調和した舞台を演出し、会場を引き付けた芸術性高い公演であった。</p>	<p>多くの会員が参加できる態勢と日ごろの研修を充分発揮できるように練習を工夫し、総力をあげての公演にする。来場の市民に感動して頂けるような演出をしたい。</p>
23	フォトサロン写楽 写真展覧会	「それぞれの視点」をテーマに撮影した作品約90点の写真展示。楽しいひと時になれば幸いです	フォトサロン写楽	<p>写真展覧会のメインテーマは「それぞれの視点」。撮影者それぞれが違う視点で捉えたバラエティに富んだ作品で「写真は見せるものではない、伝えるもの」をコンセプトにした作品展を開催致しました。</p>	<p>来年度も「それぞれの視点」をテーマに被写体に迫り、心に響く作品を目指します。コンセプトは「伝える」。感動を覚えるようなシチュエーションを目指します。これからも、ご指導を賜ります様、お願い申し上げます。</p>
24	第4回フォト・アイ写真展	会員各々がテーマを持って取り組み、1人5～7点の作品を展示。郷土の再発見を目指します	フォト・アイ	<p>天候が定まらない日々でしたが、多くの来場者がありました。丁寧に鑑賞して下さい、また、励ましの声をかけていただきました。 写真撮影に関する感性や技術を、さらに学ぶ努力を続けたいと思います。</p>	<p>撮影技術に関しては会員相互に協力・努力してゆく所存です。継続して講師を招聘しての研修会も考えています。 開催時期について。当会員中、複数名が農業に従事しています。農作業の手順上、後一週間遅い時期に開催できるよう、ご配慮下さい。</p>

NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
25	秋季さつき盆栽展	会員が花後の管理に努め、緑豊かな樹形盆栽を100余点会場一杯展示し、期間中実演と相談に応ずる	鶴岡さつき盆栽研究会	今年も夏季の天候不順で大変でしたが、会員皆さんの丹精込めた盆栽が会場いっぱいめつくしました。秋季展示会は6月の夏季展示会の様な華やかさはありませんが、色々な樹形の幹模様がご来場者を楽しませてくれました。遠くは秋田、内陸、又酒田、遊佐等各方面からのご来場者が多く、今年も300名を超える盛況で大変うれしく感謝しております。	今後とも、なお一層精進し研究を重ね、愛好者の皆様に喜ばれるような作品作りに行きたいと思います。
26	第29回庄内なつメロ会発表会	昭和の名曲をスクリーン上の映像を見ながら、みんなで唄います。平成の歌も数曲唄います。	庄内なつメロ会	なつメロの他に、保育園児たちの剣舞、舞踊なども取り入れてみました。例年喜ばれているスクリーンでのカラオケスタジオは今回も人気で、30周年を迎えた庄内なつメロ会に相応しいステージづくりができました。	今年は、保育園児の出演がステージの調味料となり、いい味が出ました。来年も、このような味つけをして、観客を楽しませたい。 中央公民館での暖房が入らず、観客には寒いおもいをさせ、迷惑をかけました。
27	朝日俳句・短歌・川柳合同展	俳句・短歌・川柳の作品展示	朝日俳句の会ほか	今年度も俳句部門において、小中学生のほぼ全員からの出品があった。また、例年数少ない川柳部門の出品数が増えたことは望ましいことである。俳句292点・短歌3点・川柳18点であり、趣向を凝らした作品が多かった。	小中学生からは引き続き数多く出品してもらえよう関係機関に働きかけるとともに、俳句等により親しんでもらえるよう児童生徒への指導も行っていきたい。また、会員一同より一層の研鑽に励んでいきたい。
28	第13回 つるおか思い出の歌愛唱会発表会	西郷大正琴、舞踊、ギター、カラオケ同好会等とのコラボレーション公演	つるおか思い出の歌愛唱会	会場のイス席125脚しかなく、ステージ前に上敷を敷いて対応しました。西郷地区近隣の皆さんから声援をいただき、アットホームな雰囲気の中で発表会を出来たことを、幸せに感じ、会場の大小ではないと感じました。	2017年も同じ場所で開催することを役員会で決定致しました。プログラム構成において中身を充実させる事と観客とのコミュニケーションを多く取り入れたいと思っています。西郷地区の芸能文化活動をより活発化させたい。
29	第23回 庄内写真研究会写真展	参加会員7名による、1人5点から10点、半切から全紙までの作品発表	庄内写真研究会	市芸術祭に参加して23回目の庄内写真研究会 写真展を開催し、出品会員7名で各自のテーマに精力的に取り組み、全作品に豊かな個性が表現され、熱意と感動が伝わったと大好評を頂きました。今回も全作品に込められた撮影者の、熱意が観覧者の皆さまに必ず伝わったことと思います。	来年度も、親睦と研鑽を一層深め、会全体のレベルアップを図り、観覧者に熱意と感動が伝わる作品造りに励みたいと思います。
30	第68回 庄内書道展覧会	鶴岡、田川地区の幼・小・中・高校・一般からの応募作品約2,000点の書道作品の展示	鶴岡書道会	ほぼ前年度並みの出品数であった。見やすい展示(高さ)を心掛けた。実施要項の配布が遅いとの声があった。時期的に地域の芸術祭と重なるためか、一般の応募が少なかった。	より多くの出品者、出品数を見込みたいので、実施要項の配布時期を早めたい。

NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
31	みんなの演奏会 創立70周年記念 鶴岡放送児童合唱団 定期演奏会	創立70周年記念演奏会として、卒団生達のソロステージや団員と卒団生の合同ステージ等	鶴岡放送児童合唱団	創立70周年を迎えての記念すべき公演内容とした。たゆまぬ子供達の歩みとなる演目と、卒団し中央で活躍している先輩たちのソロのステージと新作のミュージカル。最後は団員・卒団生達と保護者70名が創立の時代や過渡期を象徴する名曲4曲を歌い上げ、祝う事が出来た思い出に残る公演となった。	団を支え続けてくれた中学校3年生が4名も卒団となる。パートのバランスも考えなければならない。団員数と選曲は、二人三脚で有り、今後またゆまぬ努力が必要である。
32	秋の夜長の朗読三昧	山崎誠助著「昔のやまがたうわさ話」より、「夜釣りの勝負」他と、同「鶴岡の昔話」より、2編の朗読劇を行う ※2回公演	劇団麦の会	2年続けての朗読会でした。昨年の反省点を踏まえて、昼・夜の2回公演に、また小学生向けの演目を取り上げ、擬音効果など工夫して楽しい朗読会にしたつもりでしたが、残念ながら小・中・高生の入場は「ゼロ」でした。	来年度に何ができるかは、今のところ全くの白紙状態です。
33	荘内金管合奏団 秋の公演2016	金管楽器による室内楽(クラシック・ポピュラー音楽)の演奏	荘内金管合奏団	当日は会場が満席になる程のお客様からご来場いただき演奏する者として至上の喜びでした。また、大変ご好評をいただき、金管楽器の響きを多くの方々へ届けたいという我々の気持ちは届いたと思います。	演奏精度・音楽性の向上を目指し、団員一丸となって練習に励むと共に、多くの方々から聞いていただけるよう、宣伝広告に力を注ぐと共に、解りやすい企画・コンセプトにてお客様と楽しい時間を共有できるようにしたい。
34	宝生流・観世流 合同謡曲大会	素謡6番・仕舞6番・囃子4番 合同開催 (宝生流庄内白水会)	宝生流 鶴岡五雲会 ・ 鶴岡観世流 同好会	各団体とも素謡の声が大きく揃っていた。謡曲本を読む感じの前屈姿勢の方が若干見られた。胸を張って大きく謡いたい。間の取り方も上手になってきた感じ。一に稽古、二に稽古、三・四が無くて、五に稽古。	素謡も30回繰返し練習すると、一曲を暗唱出来る。囃子に中(ちゅう)の舞の曲が加わる事で、舞囃子の演目を増やしたい。謡曲引用の和歌・漢詩・典拠を広く知り、地道に後進に伝え乍ら、能芸の道の面白さを伝播して行きたい。
35	吉続舞踊学園 現代舞踊公演	モダンダンス(現代舞踊)の良き特性を生かし舞台を創る。東北合同公演の参加作品「明日への間奏曲」他	吉続舞踊学園	中央公民館ホールの持つ機能を全て活かして舞台創りが出来た。成功のひとつは、出演者の成長に目を見張るものがあつた事。本当に完成度の高い舞台を、お見せする事が出来て嬉しい。関係者一同ただ感謝あるのみです。	駐車場の事など案じてましたが、満席のお客様に恵まれて幸いだった。これを大切にして来年の舞台もより良いものに創り上げ、皆様をお迎え出来る様にしたい。客席の少なさ控室の手せま等、苦心を重ねた成果が有難い。
36	40周年記念(吟詠134回) 吟詠大会	構成吟「詩人天皇、大正天皇の御製詩・御製歌」を謳う 賛助出演:ちとせ保育園	日本九重流 朝陽清吟会	表記公演名の「芸術大会」にふさわしい催しとしてプログラムを始め吟味、一点の間違いもなく素直な吟詠と来場者に対する、おもてなしに全力を注いだことに満足しております。第134回目にして「芸能大会」を卒業か?	「芸術」と「芸能」の違いを、今一度見直し「芸術祭」参加にふさわしい催しができるか再度検討してみたい。抱負など、おそれ多いものと考えています。審査員の真剣な審査に深く今後の更なるご活躍を期待する。

NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
37	鶴岡響友会吹奏楽団 第15回定期演奏会	吹奏楽とオペラの世界	鶴岡響友会 吹奏楽団	今回は「吹奏楽でオペラを」と題しての公演、吹奏楽でのこういった公演は恐らく鶴岡響友会にしか出来ない企画であり、吹奏楽での新たな響きを求めての演奏でしたが、何事も回を重ねることの必要を大いに感じた公演でした。	オペラ紹介を今後も続けたい。いつの日か鶴岡でオペラ公演が当たり前のように開催されるよう、オペラを紹介して行きたいものです。こしばらくはオペラの名曲を演奏し、近くオペラを演奏会形式で公演を行いたい。
38	第76回 劇団だいこん座公演	第76回劇団だいこん座 公演 「おもいででのギョウザ」	劇団だいこん座	あいにくの天候にもかかわらず、御来場いただきました観客の皆様にも、まずは感謝いたします。昨年引き続きオリジナル脚本での公演は、まずまず好評とはいえ、準備不足の部分が垣間見られ、今後への反省点となりました。	ゼロから創作するという作業は簡単ではなく、執筆の遅れは練習時間を削る事につながります。今後はオリジナルにこだわらず、柔軟な作品選びが必要であると感じました。
39	スイング・クレインズ・ ジャズ・オーケストラ 第17回定期演奏会	ゲストを迎え、第1部ビッグバンド演奏、第2部ビッグバンド・ジャズボーカル	スイング・ クレインズ・ジャズ・ オーケストラ	昨年のゲスト寺泉憲さんのアンコール出演となり、ご本人もノリノリの楽しいステージになりました。「しあわせの黄色いリボン」の楽曲では舞台に一杯の黄色いハンカチの演出に会場も湧き、一体感と温かい空気に包まれました。	定期演奏会も回を重ねること17回となり、ビッグバンドジャズの楽しさを共有している事を実感しています。新文化会館の建設も佳境に入り期待もふくらみます。またゲストの方々とも楽しいステージを創りたいと考えています。
40	バウムクーヘン オータムコンサート	コンクール受賞者、受験生、大学生による、ピアノ・声楽・器楽演奏	バウムクーヘン	幼児から一般まで過去最高の総勢106名からなる演奏会は、ピアノ・声楽だけでなく、フルート・ファゴット・トランペットと多彩で華やかなステージとなりました。年々参加人数が増えて会が浸透してきているのが実感できます。	地元で育った子供達が成長し、進学等で経験を積んだ実りある演奏を聴いてもらえる場所として、今後も引き続き活動していきたいと思えます。
41	剣聖流 鶴岡剣聖会 「剣と扇の舞」	剣聖流剣詩舞の中より20数演目を「戦国武将の生と死」など剣舞の勇壮さに詩舞の華麗さを加えて発表	剣聖流 剣詩舞鶴岡 剣聖会	昨年度(優秀賞)の課題をふまえ、剣詩舞の魅力をどう伝えるをテーマに取り組んできた。衣装、舞台の工夫と共に情感の表現力はレベルアップしたと自負している。群舞も入れて変化をつけてみた。すべて手づくりでの準備は好感を得たと思う。	今年も会場いっぱいの来場者に2時間20演目で応えた。パターン化・マンネリ化しないように演目の吟味と構成の工夫をしていきたい。剣詩舞に対する理解者とサポーターを増やし鶴岡の文化づくりの一つになればと思っている。
42	鶴岡土曜会混声合唱団 第65回定期演奏会	今年は、日本・ヨーロッパの合唱の名曲を中心にお聴きいただきます	鶴岡土曜会 混声合唱団	一週間前に鳥取市で行われた、全国大会の報告も兼ねたステージとなりました。また65回の記念として、団員がソロを歌いモーツアルトのミサ曲にも挑戦しました。	中央公民館での3回目の発表会となりますが、コンクールなどで養った力で、多くの方に聴いていただける合唱をしていきたいと思えます。

NO	公演名称	公演内容	実施団体	感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
43	AKIKOフラメンコスタジオ 鶴岡20周年記念公演 華のかほり 「～フラメンコへの想い～」	庄内発表は4回目。醍醐味と華やかさ、又フラメンコへの想いを情熱的に披露。ギター・カンテは、生演奏	AKIKO フラメンコ スタジオ	初のホテルでの公演、庄内の美しい風土「海」をテーマとした作品はナレーションを入れ物語性を高めた演奏となりました。また観客と踊り手が一体となりギター・カンテの響きわたる空間を共有できたと思っております。	感動の舞台、技術の向上、地域との融和をモットーとしてきましたが、この度3度目の優秀賞をいただき地域との融和を深めることができました。来年は多くの皆様に感動してもらえる新たな記憶となる舞台を創ります。
44	第9回 写団はぐる会員写真展	会員11名の視点でとらえた風景、くらし、祭事の写真作品。各自が得意とするテーマで出品。半紙、全紙サイズ5～8点で構成。総数点70～80点	写団はぐる	写真展テーマに沿って写真撮影するのが得意、苦手な人もあるが撮りためた写真から作品の選択を検討しあった。写真の撮影場所の問いや題名誤記の指摘をいただき、説明にとまどったり、馴染みとなった方が何度も来てくれ、作品制作に助言、お褒めと話題多い交流の場となった。	写真表現の多様性考えながら表現の仕方の向上をめざす、社会情勢の中での写真を撮りかた、選び方を学ぶ、地域を意識したテーマの持ち方、とらえ方を考える、写真展を世代交流、生涯学習の場とし写真を体験するやり方も考えたい。
45	創立40周年記念 鶴岡吹奏楽団 第32回 定期演奏会	鶴岡吹奏楽団による、40周年を記念する演奏会	鶴岡吹奏楽団	今回の定期演奏会は、これまでの四十年間の活動を振り返るとともに、4月に惜しくも亡くなられた鶴岡出身の偉大な作編曲家である真島俊夫先生にスポットをあて、幅広い楽曲で吹奏楽の魅力をお届けできました。	これからも「鶴吹」の愛称で地域に根ざす社会人吹奏楽団として、吹奏楽の楽しさ・素晴らしさを伝え、地域の吹奏楽の発展に貢献できますよう、より一層精進して参りたいと思います。



## 5. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)実施状況一覧

地域	事業名	実施日	会場	参加者(出品者)数	作品数	入場者(延)数	
藤島	第45回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	10/30(日)	藤島地区地域活動センター 大ホール	71	23	170
		展示部門	10/29(土)～10/31(月)	藤島地区地域活動センター	108	228	1,200
	第27回ふじしま音楽祭	11/5(土)	藤島地区地域活動センター 大ホール	310	12	1,100	
羽黒	第32回はぐろ秋まつり芸術文化祭	芸能発表会	11/6(日)	羽黒コミュニティセンター	141	17	300
		作品展	11/3(木)～11/6(日)	羽黒体育館アリーナー	808	1,220	500
櫛引	第48回くしびき文化祭	まなびいステージ	11/13(日)	櫛引公民館多目的ホール	156	21	300
		展示部門	11/1(火)～11/3(木)	櫛引公民館	527	731	811
		研修部門	10/23(日)	酒田市中心部方面	15	-	-
朝日	平成28年度あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10/22(土)・11/3(木)	朝日中学校体育館・朝日中央コミュニティセンター大集会室	174	20	650
		作品展示部門	10/29(土)～11/3(木)	朝日中央コミュニティセンター	1,019	1,112	1,600
温海	平成28年度(第33回)温海文化祭	ステージ部門	11/3(木)	温海ふれあいセンター	220	21	900
		展示部門	10/28(金)～11/3(木)	温海ふれあいセンター	671	1,042	1,350



## 6. 各地域文化祭(芸術祭協賛事業)の反省点と来年度への抱負

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
藤島	第45回藤島芸術文化祭	芸能発表部門	芸文加入団体以外の1団体2個人から特別出演があり、いつもとは違ったステージに観客の皆さんからも喜んでいただいた。当日は例年のおお、他の大きなイベントと重なっている。	集客に引き続き力を入れていくとともに、ステージ内容について工夫をし、出演者・来場者ともに楽しめる発表会にしていきたい。
		展示部門	各地区の文化祭と重なったこともあり出展数は若干減少したが、小・中学生を含む幅広い層・団体からの出展、工夫を凝らした作品の数々に見応えのある展示となった。同日開催された合同茶会・民話の語りとともに訪れた人々の目を楽しませてくれた。	芸術文化団体だけの出展にとどまらず、加盟していない一般の方々への参加もお願いし、地域あげての文化祭にしていきたい。
	第27回ふじしま音楽祭		幼児から小学生、高校生、一般と幅広い市民が参加しての音楽祭となった。当日は藤島中学生・庄内農業高校生ボランティアの協力もありスムーズに進行し、出演者と観客が一体となり会場は和やかな雰囲気にも包まれた。	会場が手狭なため、ピーク時は全員が座って鑑賞することはできないが、たくさんの方々から来場いただけるように今後とも工夫していきたい。東栄小学校5年生は不参加となり残念。
羽黒	第32回はぐろ秋祭り芸術文化祭	芸能発表会	出演団体・演目数は昨年より若干少なかったものの、日頃の練習の成果を発揮した歌や踊り、語りなど様々な発表があり、多くの観客に楽しんでいただいた。また、フィナーレとして観客も一緒に歌ったりと盛会に終えることができた。	より多くの観客に鑑賞していただくよう、関係機関と連携しながらPRに努め、さらに充実したステージになるよう取り組んでいきたい。
		作品展	保育園、小中学校をはじめ、羽黒高校や芸術団体、個人の作品が多数出品され、また、地域交流作品として藤島芸術文化協会に所属する小林功氏の絵画も展示することができ、見ごたえのある展示となった。創意工夫を凝らした作品が来場者の目を楽しませてくれた。	個人等一般作品の出品数が減少傾向にあるため、出品しやすい工夫やPRに努めたい。

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
榎引	第48回くしびき文化祭	まなびいステージ	小学生から高齢者まで幅広い年代、ジャンルの方々に出演していただき、日頃の練習の成果を披露する場となった。初めての出演者もあった。特別出演として「大山いざや巻保存会キッズ華の会」を招き、古くから傳承されてきた貴重な踊りを見ることができた。 合唱の指揮台の設置に手間取り、進行が遅れたため、今後工夫が必要。	来年も市芸術文化協会加盟団体や他地域で活動するサークル等に出演していただき交流を図っていく。今後、司会や受付などを実行委員から担当してもらい、みんなで作り上げる文化祭にしていきたい。
		展示部門	地域の保育園・小中学校、生涯学習講座の受講生、サークルなど、多種にわたる出品があり、昨年度より出展者数、作品数ともに増加した。飾り付け等にも工夫を凝らし、にぎやかな展示会場となった。また、特別展は、榎引地域の菅原竹洋氏の日本画展を開催し、来場者の目を楽しませていた。	来年度も積極的なPRを行い、委嘱作品出品者も含めて作品展示の充実を図りたい。
		研修部門	観光ガイドによる案内に熱心に聞き入るなど、参加者には概ね好評であった。しかし天候に恵まれず寒い思いをしたので、時期の選定に工夫が必要である。	参加者が固定化していることと長期継続事業であることから、庄内地区に限らず新規研修先の開拓が必要である。
朝日	平成28年度あさひ産業文化まつり	芸能発表部門	10月22日の朝日中学校合唱祭においては、クラスごとの発表のほか、全校生徒紅白にわかれての歌合戦や、全校合唱など迫力ある歌声、美しいコーラスが聴衆を魅了した。 また、11月3日には朝日芸術文化協会加盟団体等による11団体13演目の芸能発表が行われ、和太鼓や大正琴、コーラス、民謡、舞踊、ダンス、詩吟などの発表を出演者、観客ともに楽しむことができた。	地域のサークルや団体が日頃の成果を発表し、地域住民が文化活動に触れる良い機会であるため、さらに充実したステージとなるよう努めていきたい。 また、朝日中学校合唱祭は、あさひ産業文化まつりのプログラムに加わっており、中学生の学習の成果を地域住民に披露、鑑賞してもらう良い機会となっている。
		作品展示部門	今年度も書道・絵画・俳句部門に小中学生ほぼ全員から出品があり、児童・生徒の作品の鑑賞に家族等の来場者も多かった。また、俳句・短歌・川柳合同展や、写真、生け花、創作品等の展示など多彩な作品展示を行うことができた。	小中学生の人数の減少などにより出品数が減少傾向ではあるものの、小中学生が学習の成果を発表し、地域住民がその作品を鑑賞する良い機会であり、今後も各学校と連携をとりながら取り組んでいきたい。また、一般の作品についても、芸文協加盟団体と協力しながら、広く地域の方々からの出品が得られるよう努めていきたい。

地域	事業名		感想及び反省点等	来年度への抱負及び意見等
温海	平成28年度(第33回)温海文化祭		<p>幼児から大人まで幅広い年代層の出演があり、21ステージが繰り広げられた。練習を重ねた発表はどれも素晴らしかった。</p> <p>近年、若い方から司会をしてもらっており、若者が地域の魅力を感じる良い機会となっている。</p>	<p>日頃の活動の成果を発表する良い機会であり継続して開催していきたい。今後もより多くの出演者、来場者が得られるように各関係団体と連携しながら楽しいステージ作りに努めていきたい。</p>
			<p>幼児から大人まで幅広い年代の絵画や書道、手工芸、生け花等、丹精こめて制作された作品の出展があり、見る人の目を楽しませていた。</p> <p>これまで一学年分のみ出展していた中学校からも全学年分の絵画を出展してもらい作品数が増えた点は良かったが、一方、書道教室や押し花サークルが解散したことなどにより出展のジャンルは少なくなっている。</p>	<p>幼児から大人の方の作品を鑑賞できる良い機会であり、家族で鑑賞する方も多い。今後も保育園、学校、各種団体と連携し取組んでいきたい。また、展示スペースの有効活用を考えながら、多くの方から楽しんでいただけるような空間作りを心掛けたい。</p>



## 7. 鶴岡市芸術祭参加公演数等の推移

### 参加公演

年度	鶴岡市芸術祭				県民芸術祭		参加公演数 地域別内訳						
	回数	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海
平成18年度	第1回	39	54	4,224	34,689	17	23	39					
平成19年度	第2回	44	61	4,440	36,505	26	38	39	2			3	
平成20年度	第3回	49	68	4,586	41,649	26	38	42	1	1	2		3
平成21年度	第4回	46	67	4,369	36,421	32	46	39	3	1		1	2
平成22年度	第5回	47	67	4,010	35,874	31	43	41	2	1		1	2
平成23年度	第6回	44	63	3,748	31,984	26	38	38	2	1		1	2
平成24年度	第7回	46	63	3,411	31,277	33	46	40	2	1	1	1	1
平成25年度	第8回	46	66	3,569	34,556	31	43	40	2	1	1	1	1
平成26年度	第9回	39	49	3,327	24,962	27	36	34	1	1	1	1	1
平成27年度	第10回	42	51	3,316	25,050	26	32	37	1	1	1	1	1
平成28年度	第11回	45	55	3,351	23,129	29	38	41	1	1		1	1

### 協賛事業(地域文化祭)

	鶴岡市 芸術祭	藤島		羽黒		楡引		朝日		温海	
		参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
平成18年度	第1回	211	1,200	1,287	2,200	1,317	1,774	1,247	1,700	1,003	1,990
平成19年度	第2回	172	1,200	1,000	1,390	866	2,022	1,254	1,900	1,164	2,200
平成20年度	第3回	636	1,360	915	1,200	809	1,755	1,135	1,900	1,032	2,350
平成21年度	第4回	678	1,451	965	727	708	1,692	1,034	2,000	1,138	2,200
平成22年度	第5回	705	1,545	1,038	1,146	794	1,665	766	1,950	1,063	2,300
平成23年度	第6回	674	1,820	1,224	941	672	1,482	639	1,850	965	2,500
平成24年度	第7回	639	1,930	1,022	893	702	1,229	701	1,850	993	2,500
平成25年度	第8回	639	1,780	1,022	995	721	1,110	701	1,850	979	2,200
平成26年度	第9回	529	1,700	1,024	842	671	1,289	872	1,705	905	2,200
平成27年度	第10回	516	1,780	957	728	638	1,340	1,205	1,800	779	1,800
平成28年度	第11回	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250

## 8. 記念事業など

年度	芸術祭回数	分類	公演名等
平成24年度	第7回	賛助公演	第49回現代舞踊合同公演(主催:社団法人 現代舞踊協会東北支部)
平成25年度	第8回	特別参加事業	鶴岡市芸術文化協会創立50周年記念事業 ～ありがとう!明日にむかって～ (主催:鶴岡市芸術文化協会) ◎総合舞台『美しい山河 ここに生命輝く』 ◎総合芸術展『文化と伝統・自然の香り豊かに』
平成27年度	第10回	イベント	第10回鶴岡市芸術祭記念イベント「まちなかアート鶴岡」
		協賛事業	鶴岡市合併・市制施行10周年記念事業 鶴岡市芸術祭協賛事業 地域文化祭交流ステージ(展示) 藤島:錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部、羽黒:黄雞鶴岡歌会、楡引:鶴岡吹奏楽団、朝日:白甕社、温海:鶴岡竹友会
平成28年度	第11回	関連イベント	第36回全国豊かな海づくり大会協賛イベント 「海づくりアート鶴岡」～海・山・川～今年も響くアートの風! (主催:全国豊かな海づくりアート実行委員会)



## 《参考》

### 『海づくりアート鶴岡』実施内容

部 門	日 程	会 場	参 加 団 体 名	参加団体数
舞台部門	9月3日(土) 13:00～	エスモール 光の広場 1F	庄内農業高等学校文化部、市民参加型ミュージカル実行委員会、Gospel Gleamers なんちゃってバンド、鶴岡東高等学校吹奏学部 鶴岡南高等学校吹奏学部・鶴岡工業高等学校吹奏学部	7
	9月4日(日) 14:00～	エスモール 光の広場 1F	鶴岡放送児童合唱団、鶴岡竹友会、男声合唱団デザミ・アンティム	3
	9月9日(金) 14:00～	エスモール 光の広場 1F	鶴岡ハーモニカソサエティ	1
	9月10日(土) 13:00～	エスモール 光の広場 1F	TAPE(村山智昭)、羽黒高等学校吹奏楽部、庄内金管合奏団 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部・シンフォニック庄内流・だいこん座(合同)	6
	9月4日(日) 14:00～	丙申堂	日本九重流鶴城清吟会、田川民話の会、さゞ波会、藤静会	4
	9月10日(土) 14:00～	鶴岡タウンキャンパスピロティ (雨天によりやすらぎ広場から会場変更)	八沢会、松柏吟友会、山形庄内よさこい連盟	3
	9月11日(日) 12:10～	豊かな海づくりフェスタinゆら 由良ふれあい広場	表現舎刻一刻	1
展示部門	9月3日(土)～9月11日(日)	市役所1Fロビー	白甕社	1
	9月3日(土)～9月11日(日)	エスモール エントランス広場	生け花 草月流	1
	9月3日(土)～9月11日(日)	エスモール イベントスペース 2F	黄雞鶴岡歌会、稲京短歌会、鶴岡書道会、六十里越街道俳句大会実行委員会	4
	9月3日(土)～9月11日(日)	エスモール 貸し教室(まなびの広場) 2F	書法研究 山紫会、書道研究 飛雲会、鶴岡工業高等学校絵画部 鶴岡中央高等学校美術部・書道部、庄内農業高等学校文化部	6
計				37

《主催》

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会  
鶴岡市教育委員会

《後援》

致道博物館  
鶴岡商工会議所  
荘内日報社  
山形新聞・山形放送  
朝日新聞山形総局  
毎日新聞山形支局  
読売新聞山形支局  
河北新報社  
NHK山形放送局  
山形テレビ  
テレビユー山形  
さくらんぼテレビ



ポスター：齋藤拓氏

第11回(平成28年度)鶴岡市芸術祭参加公演総括表

平成29年2月作成

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会事務局  
〒997-0346 鶴岡市上山添字文学100 鶴岡市教育委員会社会教育課内  
TEL.0235-57-2008 FAX.0235-57-2117